



## 2022年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2021年12月10日

上場会社名 株式会社アースインフィニティ 上場取引所 東  
 コード番号 7692 URL https://www.earth-infinity.co.jp  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）濱田 幸一  
 問合せ先責任者（役職名）取締役（氏名）松田 ありさ（TEL）06-4967-2222  
 四半期報告書提出予定日 2021年12月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2022年7月期第1四半期の業績（2021年8月1日～2021年10月31日）

## （1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年7月期第1四半期	1,015	8.6	7	△94.8	7	△95.1	3	△96.8
2021年7月期第1四半期	934	—	150	—	150	—	102	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年7月期第1四半期	1.09	—
2021年7月期第1四半期	34.68	—

（注）当社は、2020年7月期第1四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、2021年7月期第1四半期の対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年7月期第1四半期	1,689	865	51.2
2021年7月期	1,593	993	62.3

（参考）自己資本 2022年7月期第1四半期 865百万円 2021年7月期 993百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年7月期	—	—	—	43.00	43.00
2022年7月期	—	—	—	—	—
2022年7月期（予想）	—	—	—	19.00	19.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2022年7月期の業績予想（2021年8月1日～2022年7月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	1,980	1.5	63	15.4	60	5.5	36	△1.7	11.89
通期	4,001	6.6	305	69.1	300	63.9	193	55.0	63.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年7月期1Q	3,059,200株	2021年7月期	3,059,200株
2022年7月期1Q	21株	2021年7月期	21株
2022年7月期1Q	3,059,179株	2021年7月期1Q	2,967,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	6
(収益認識関係)	7
(重要な後発事象)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の抑え込みを図るため、ワクチン接種が進み、国内の新規感染者数が減少し、経済活動の回復が期待される中で、変異型ウイルスの発見による感染拡大の懸念など、引き続き、新型コロナウイルス感染症が国内外の経済に与える影響や感染症の動向については、十分な注意が必要な状況が継続しており、先行きに対する不透明感が強まっております。

このような環境のもと、当社は、『人や仲間が集まり続け求められ応え続ける会社』という理念のもと、脱炭素社会実現への取り組みとして再生可能エネルギー開発への投資やSDGsに関する企画への参画を行う等、中長期的な成長を視野に見据え事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における当社の業績は、売上高は1,015百万円（前期比8.6%増）、営業利益は7百万円（前期比94.8%減）、経常利益は7百万円（前期比95.1%減）、四半期純利益は3百万円（前期比96.8%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (エネルギー事業)

エネルギー事業におきましては、売上を継続的に獲得できる基盤作りを目指して、電子機器事業のノウハウを活かし、中間層を中心とした営業活動の結果、公的機関及び中小企業との契約獲得数を伸ばしております。

前年同四半期累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響による電力需要の低下により市場価格が低水準となり、電力調達価格を抑制できておりましたが、当第1四半期累計期間においては、日本卸電力取引所の価格高騰に備え相対取引の調達割合を増加させ、電力調達価格を安定させたことにより結果的に利益率が低下しております。

これらの結果、売上高は963百万円（前期比9.5%増）、営業利益は71百万円（前期比65.5%減）となりました。

#### (電子機器事業)

電子機器事業におきましては、既存顧客のリースアップに伴うリプレイス販売を中心とした営業活動の結果、売上高は51百万円（前期比6.0%減）、営業利益は23百万円（前期比4.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第1四半期会計期間末における資産は、前事業年度末に比べ96百万円増加し、1,689百万円となりました。主な要因は、有形固定資産に含まれる建物附属設備が92百万円、建設仮勘定が102百万円、投資有価証券が230百万円増加したものの、現金及び預金が157百万円、売掛金が12百万円、その他に含まれる前渡金が43百万円、差入保証金が116百万円減少したこと等によるものです。

#### ②負債

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ224百万円増加し、824百万円となりました。主な要因は、短期借入金が200百万円、その他に含まれる未払金が50百万円、預り金が22百万円増加したものの、未払法人税等が38百万円減少したこと等によるものです。

#### ③純資産

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ128百万円減少し、865百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当により131百万円減少したこと等によるものです。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月期の業績予想につきましては、2021年9月10日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業活動への影響及び業績予想への影響につきましては、経済の不確実性に留意する必要は未だあるものの、現時点では軽微であると考えております。他の要因を含め公表すべき事実が発生した場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年7月31日)	当第1四半期会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	415,142	257,264
売掛金	702,323	689,793
棚卸資産	4,952	4,311
その他	76,355	32,011
貸倒引当金	△3,511	△3,448
流動資産合計	1,195,262	979,931
固定資産		
有形固定資産		
建設仮勘定	141,400	244,100
その他	3,127	100,005
有形固定資産合計	144,527	344,105
無形固定資産		
	5,085	4,609
投資その他の資産		
投資有価証券	—	230,000
差入保証金	234,676	118,038
その他	23,499	19,478
貸倒引当金	△9,710	△6,810
投資その他の資産合計	248,465	360,705
固定資産合計	398,078	709,420
資産合計	1,593,341	1,689,352
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	311,166	303,064
短期借入金	—	200,000
1年内返済予定の長期借入金	24,440	19,996
未払法人税等	41,639	3,439
賞与引当金	8,463	10,554
その他	141,027	218,892
流動負債合計	526,735	755,946
固定負債		
長期借入金	73,339	68,340
固定負債合計	73,339	68,340
負債合計	600,074	824,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	144,974	144,974
資本剰余金	135,818	135,818
利益剰余金	712,555	584,354
自己株式	△81	△81
株主資本合計	993,266	865,065
純資産合計	993,266	865,065
負債純資産合計	1,593,341	1,689,352

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2020年8月1日 至2020年10月31日)	当第1四半期累計期間 (自2021年8月1日 至2021年10月31日)
売上高	934,949	1,015,363
売上原価	617,513	839,909
売上総利益	317,436	175,453
販売費及び一般管理費	166,584	167,652
営業利益	150,852	7,801
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	2
その他	39	217
営業外収益合計	42	219
営業外費用		
支払利息	545	223
その他	—	493
営業外費用合計	545	716
経常利益	150,349	7,304
税引前四半期純利益	150,349	7,304
法人税、住民税及び事業税	51,488	3,006
法人税等調整額	△4,075	953
法人税等合計	47,413	3,960
四半期純利益	102,936	3,343

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期会計期間期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当第1四半期会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期累計期間の損益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期累計期間(自 2020年8月1日 至 2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	879,988	54,961	934,949	—	934,949
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	879,988	54,961	934,949	—	934,949
セグメント利益	205,652	22,935	228,588	△77,736	150,852

(注) 1. セグメント利益の調整額△77,736千円は、主に本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期累計期間(自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計算 書計上額(注) 2
	エネルギー事業	電子機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	963,679	51,683	1,015,363	—	1,015,363
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	963,679	51,683	1,015,363	—	1,015,363
セグメント利益	71,029	23,855	94,885	△87,083	7,801

(注) 1. セグメント利益の調整額△87,083千円は、主に本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期財務諸表の営業利益と調整を行っております。



(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当第1四半期累計期間(自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	エネルギー事業	電子機器事業	
電気販売	919,829	—	919,829
ガス販売	37,326	—	37,326
電力基本料金 削減コンサルティング	—	51,683	51,683
その他	6,522	—	6,522
顧客との契約から 生じる収益	963,679	51,683	1,015,363
その他の収益	—	—	—
外部顧客への売上高	963,679	51,683	1,015,363

(重要な後発事象)

該当事項はありません。